

栃の木からの手紙

2025年 霜月 11月号



5日： 満月 旧 9月 16日
7日： 立冬
20日： 新月 旧 10月 1日
22日： 小雪

10月3日午後、有機JASのデントコーンの収穫が行われました。

専用の収穫機がデントコーンのつぶつぶの実だけを収穫して並走するトラックの荷台に飛ばして行く。茎や葉、コーンの軸等は細断されて畑にばら撒いて行く。

20年程連作を続けた芋畑に昨年初めて導入したデントコーンは、ダンプ3台の収穫量があった。今年は、2台。減収です。

思えば、芋と同様の管理をしていた所に連作2年目。来年に向けては、更なる土づくりを考えなくてはならない。まずは、残渣物の分解を早める事。収穫10月3日の夜には、チョッパーで残渣物を細断。

6・7日にはロータリーで残渣物のすき込み。

16日醗酵鶏糞ペレット3号5袋散布。

20日夜に、隣接する慣行圃場で整地作業をしているとJAS畑に4頭の鹿が灯りに浮き上がる。

24日粒状脱脂糠2袋散布。

25日朝は、強い降霜があり真っ白です。

31日は夜からの豪雨に備えて心土破碎をして雨を土中に溜め込む様にしました。

11月1日予報通りの暴風雨。台風並みだろうか。秋播き小麦以外の殆どの畑に心土破碎を行なっている為、雨の多くは乾ききった畑に浸透して行くはず。

住宅前の秋播き小麦の畑からは、雨は畑表面を流れて倉庫の庭の方へと大量の雨水が流れていました。強風で屋根・壁のトタン剥がれ4枚在り。

